✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧

✧　数値予報講習会を開催しました

去る2月16日(水)に標記講習会を気象業務支援センターのある千代田区神田錦町の東ネンビル4階会議室において開催し、遠くは大阪、仙台からの参加された方も含め、31名の方が出席されました。講師を務められた気象庁数値予報課の永戸（えいと）予報官は、気象研究所でメソモデルの開発に携わり、昨年4月から数値予報課でメソモデルグループのチーフを務めておられます。

講義は、基本的なモデルの知識の再確認、局地モデルの試験運用状況の解説、そして最近の改善の成果についての3部構成で解説されました。熱心な話と用意された資料が盛り沢山のため、最後の話題である改善事項は、代表的な全球モデルの改善について話すことしかできませんでしたが、まさしく専門家である永戸予報官の話は興味深いものでした。

参加された方からも、雷の表現はいかがかなど、業務に携わる観点からの質問も飛び出る活発な質疑となりました。

（(財）気象業務支援センター振興部）